



## タンポポの話

自然解説員  
かわばたしょうこ  
川端祥子

「タンポポ」と聞くと「あー、あの黄色い花ね。タネ飛ばしたことがあるよ。ふうと息吹きかけてね。」と思出す人は多いのではないのでしょうか。春の花としては代表的な植物ですね。でもタンポポがどんな植物なのか、どんな性質を持っているのか知っていますか。これから少しみていきましょう。



セイヨウタンポポ

### (1) まず一株のタンポポが咲かせる花の数は？

「こんなの簡単、簡単。一つ、二つと数えればいいのでしょうか。」この答えは、多分、茎(この茎は花茎かけいといいます。 ) のてっぺんで咲いている花をひとつとして数えているのではないかと思います。でも、その花がタネとして姿を現したとき、綿毛(冠毛かんもうといいますが)の一つ一つにタネがついていますね。一つの花に一つのタネがついているのです。花を割ってバラバラにして数えてもわかりませんが、すごい数でしょう。セイヨウタンポポ一輪で200ちかい花がついているといわれています。タンポポの冠毛はガクが変化したものです。花を守っているまわりの部分は総苞そうほうといいますが。花は日が当たると開花し、日がかげると閉じるという運動を2、3日繰り返します。これはチョウやハチが日に当たると活発に活動し、蜜を集めに訪れ、花粉も運んでくれるからです。

(2) 花が咲き終わると踏まれているわけでもないのに、花茎が地面近くまで倒れているのを見たことがあると思いますが、なぜだと思いますか？

これは茎が細くやわらかいので、立ちあがったままだと風などで折れやすいためではないかといわれています。この倒れている間にタネが熟すのです。そして茎も伸びて花のときよりも長くなります。タネが熟すとまた立ち上がります。これはできるだけ高くのびあがって、風をうけ遠くまでタネを飛ばすためなのです。

(3) 「タンポポ戦争」という言葉を聞いたことがありますか？

これは日本のタンポポと外国から来たタンポポの領地争いのことです。性質の違いから繁殖地が外来種に押しやられているのです。日本のタンポポはそのほとんどが春を中心に花を咲かせ、タネを作ります。タネを飛ばしたあとは葉も枯れ、春までの長い眠りにつきます。しかも、他花受粉（た か じゅ ぶ ん）（同じ種類のほかの株の花粉をもらうこと）なので一株だとタネができないのです。ただし自花受粉（じ か じゅ ぶ ん）でもシロバナタンポポのようにわずかだがタネをつけるものもありますが。

これに対して外国からはいつてきたセイヨウタンポポやアカミノタンポポは一年中花をつけることができ、自花受粉でタネができ、しかもコンクリート等のアルカリ成分の強いところや踏み付け等にも強いので勢力範囲を広げているのです。はじめ北海道に来た外国人が食用に持ち込んだものが広がったとも言われています。

(4) もう少し日本のタンポポについて調べてみましょう。

日本のタンポポは大きく分けても20種をこえて種類が分けられているようです。北は北海道の北端より北、千島（ちしま）のほうまで、南は沖縄の南端まで、また、2000mを超える高山までタンポポの花を見ることができます。見分け方は総苞（ガクと呼んでいるところ）の形や色等と地域が中心になるとと思いますが非常にむずかしいです。セイヨウタンポポのように総苞片がそりかえるような特徴があるといいのですが、日本のシロバナタンポポも総苞片は反り返ります。ただし、花の色が白いので花が咲けば見分けられます。

最後に日本のタンポポの主な種類と地域をあげておきましょう。

平地で見られるものとしては、

・カントウタンポポ（別名アズマタンポポ）・・・関東地方、山梨県と静岡県の中中部と東

部の地方。

・シロバナタンポポ・・・自家受粉、関東以西。西日本の人家近くで多く見られる。四国や九州にはシロバナタンポポしかないところもあるそうです。

・エゾタンポポ・・・北海道を中心に中部以北。花茎の上部に毛が密生している。

この3種は松戸あたりでも見られます。

・ヒロハタンポポ（別名トウカイトンポポ）・・・千葉県から和歌山県の潮岬までの太平洋側。

・カンサイタンポポ・・・長野県以西。関西地方に多い。

高山性のものとしてはミヤマタンポポ（北アルプスや白山などで）をはじめ、各山系ごとに微妙に違うようです。

このようにタンポポひとつ見ても、その土地で一生懸命子孫を増やそうとがんばっているのです。どうしても庭にほしいという人は、根からではなくタネを少しもらってください。できればその場で春を楽しんでくださいね。その地域にあった性質を持って長い間生きてきているのですから。

## ～新しい！自然解説員の紹介～

3月までお世話になりました大坂、宮崎解説員にかわり、4月から加わる2名の解説員を紹介します！



いがらし きよあき  
五十嵐 清晃 解説員 昆虫担当

身の回りの小さな生き物に目を向けることは、とても面白いことです。一緒に、自然や生き物について学んでいきましょう。



かが よしえ  
加賀 芳恵 解説員 昆虫担当

昆虫は六本脚の小宇宙。無限の魅力があります。それを少しでもお伝えできればと思い、がんばります。

# ボタン（牡丹）

みどりの相談員  
あおしま なお すけ  
青島 尚 祐

昔からある花で「花の王様」といえばそれはボタンでしょう。

ボタンは 1300 年ほど前、中国から日本に薬用として入ってきたと言われて  
います。1000 年ぐらい前の「蜻蛉日記」<sup>かげろうにつき</sup>という本にボタンの名前が出ているそ  
うです。その後、たくさんの品種が作られてきました。

咲くのは 4 月下旬から 5 月上旬ですが、寒牡丹<sup>かんぼたん</sup>という 12 月から冬に咲く種  
類があります。ボタンは本来寒さに強い植物ですが、花びらに霜が当たってはさ  
すがに痛みますので、霜よけをします。しかし、これは寒さよけというよりは、  
風雨よけです。雪の積もった中に赤い大きな花が咲いている姿は、なんともいえ  
ない風情です。寒牡丹にもいろいろな品種はありますが、5 月に咲く豪華な品種<sup>ごうか</sup>  
に比べるとやや劣ると、寒さに耐えるため葉が出ないので寂しい感じは否めま  
せん。そこで登場したのが冷蔵処理<sup>れいぞうしゅり</sup>をしたボタンです。チュウリップなどの球根  
や、イチゴなどの草苗を冷蔵して促成栽培<sup>そくせいさいばい</sup>することは、かなり前から行われてい  
ましたが、ボタンのような木の株を冷蔵するのは、大型の冷蔵室が簡単にできる  
ようになってからで、20 年ぐらい前からです。この冷蔵ボタンを、寒牡丹と区  
別するために冬ボタンといいます。これは 4 から 5 月に咲く種類ですから花は  
豪華で葉も青々としていますが次の冬には咲きません。しかし、そのまま培養<sup>ばいよう</sup>  
して春咲きのボタンとして栽培することはできます。

栽培は花壇<sup>かたん</sup>植えと鉢植えが行われています。地植えでは過湿が大敵なので、  
排水<sup>はいすい</sup>が良いように土を盛り上げてその上に植え、日当たりと風通しがよいように  
するには花壇のように通路より高く植えるのが最適です。植え付けは 10～11  
月で、苗はシャクヤクの根に接木したもので継ぎ目が土に埋まるように植えます。  
元肥<sup>もとごえ</sup>は、植える前に堆肥<sup>たいひ</sup>や油粕<sup>あぶらかす</sup>を深く混ぜておきます。冬の間に枝の芽の  
ない部分を切り取ったり必要な剪定<sup>せんてい</sup>をします。4 月は唯一の成長期<sup>ゆいいつ</sup>です。蕾<sup>つぼみ</sup>  
が大きくなったら支柱<sup>しちゅう</sup>をする必要があるでしょう。開花時には風雨を避ける設備を  
すれば長持ちします。花が終わったら花首<sup>はなくび</sup>から切り取り、葉は大切に秋まで着け  
ておきます。花が終わった時点で追肥<sup>ついで</sup>をやります。このままだと毎年丈が高くな  
ってしまうので 6 月に芽かきをします。葉脇の芽がはっきりしてきた頃、元の方

の2～3芽を残してかきとります。すると残した芽が来年の花芽になります。

鉢植えの場合、根の小さいものを10号鉢に植えてあとは地植えと同じ管理をしますが、水の乾湿の調節が難しく、花を觀賞するとき以外は、庭があれば植木鉢ごと土に埋めておくとよいと思います。

## パークセンター4月・5月の催し物

講座名	日時	定員	講師	費用	受付
園芸教室「春の種まきと花壇植物」	4月9日(土) 13:30から15:00	45名	みどりの相談員 青島尚祐氏	無料	3/15 から
園芸教室「芝生の作り方と管理(実習あり)」	4月23日(土) 13:30から15:00	20名	みどりの相談員 野口宣二氏	無料	3/15 から
野草ウォッチング (雨天時は屋内)	4月24日(日) 10:00から11:30	25名	自然解説員 加藤裕一氏	無料	3/15 から
樹木ウォッチング「新緑の観察会(雨天時は屋内)」	5月8日(日) 10:00から11:30	25名	自然解説員 藤田泰氏	無料	4/15 から
昆虫ウォッチング (雨天時は屋内)	5月15日(日) 10:00から11:30	25名	自然解説員 林・五十嵐氏	無料	4/15 から
バードウォッチング (雨天時は屋内)	5月21日(土) 10:00から11:30	25名	自然解説員 今村裕之氏	無料	4/15 から
園芸教室「ツツジ、ポタンなどの花後及び夏草花の手入れ」	5月21日(土) 13:30から15:00	45名	みどりの相談員 小林喜代次氏	無料	4/15 から
野草ウォッチング (雨天時は屋内)	5月22日(日) 10:00から11:30	25名	自然解説員 川端祥子氏	無料	4/15 から
園芸教室「生垣の作り方と手入れ」	5月28日(土) 13:30から15:00	20名	みどりの相談員 野口宣二氏	無料	4/15 から
みどりの講習会「ブルーコンテナの作成」	5月29日(日) 13:30から15:30	36名	千葉県グリーンアドバイザーの会 吉田俊一氏	2,500 円	4/15 から

すべての催し物が、予約制となっております。電話、または直接パークセンター窓口でお申込下さい。



### みどりの相談室

パークセンター「みどりの相談室」では、相談員の先生が園芸に関するさまざまな質問に無料でお答えします。電話でもお受けしていますのでお気軽にご相談下さい。

【相談日】 水・土・日曜日と祝日

【時間】 午前10時～12時・午後1時～3時30分

【電話】 047-345-8738  
ハナミツバチ

## 21世紀の森と広場の外来動物

自然解説員  
はやし まさゆき  
林 正幸

### 外来種とは

最近、テレビや新聞などで「外来種」という言葉を耳にしたことがある方も多  
いかと思います。一般的に「外来種」とは、なんらかの理由により、もともとは  
その場所に生息していなかった生物が他地域から侵入・定着した生物のことを  
言います。一方「在来種」は、従来からその地域に生息している生物のことを  
さします。この外来種の存在が、昨今問題視されるようになりました。

### 外来種の問題点

外来種が与える様々な影響として主に知られているのは、競争や捕食による  
在来種への圧迫、生態系の改変、交雑による遺伝子の攪乱等が挙げられます。  
1990年代から、世界的に「生物多様性の保全」が重要視されるようになりまし  
た。生物多様性の重要性に関しては、今回は省略させていただきますが、生物多  
様性が脚光を浴びるようになると同時に、一部の外来種の脅威が浮き彫りにな  
ってきました。日本では2005年から「外来生物法」が施行され、法的に特定  
の外来種の移動などが規制されています。実は、私たちの生活する市街地はもち  
ろん、21世紀の森と広場のような都市公園にも多くの外来種が生息しています。  
21世紀の森と広場に生息する外来種について、ほんの少しだけ紹介していきたい  
と思います。

#### ・ウシガエル

食用として1920年ごろ日本に持ち込まれたものが野外に逃げ出し、現在  
は全国的に分布する、非常に大きなカエルです。「ブモーブモー」と、牛のよ  
うな大きな声で鳴くことからこの名がつけられました。このカエルは非常に  
食欲旺盛で、昆虫やザリガニ、他のカエルだけでなく、ネズミなどの哺乳類も  
捕食します。捕食による在来種の駆逐が懸念されており、「外来生物法」の「特  
定外来生物」にも指定されています。21世紀の森と広場では、水辺や湿地に  
成体やおたまじゃくしが多く観察されます。

## ・ブラックバス（オオクチバス）

1925年に日本に持ち込まれ、釣りの対象魚として全国の川や湖などに放流されました。ブラックバスも食欲が旺盛であり、また繁殖力も強く、在来魚を減少させるとしてさ



まざまな河川や湖などで問題視されています。ブラックバスも「特定外来生物」に指定されています。21世紀の森と広場の池には、たくさんのブラックバスが生息しています。

## ・アメリカザリガニ

“まっかちん”などの愛称で親しまれている、いわゆる“ザリガニ”です。21世紀と森の広場にいるザリガニは、全てこのアメリカザリガニです。1930年ごろに、ウシガエルの養殖用のエサとして日本に持ち込みました。雑食性であり、水草や在来魚



類、両生類などを食べてしまうとして生態系への影響が懸念されています。ちなみに、日本在来種“ニホンザリガニ”は青森や北海道にのみ生息し、関東地方には元からいません。

## 外来種は悪い生き物なの？

一概に外来種が生態系に大きなダメージを与えるのかということ、実はほとんどわかっていません。単純に、外来種が在来種を食べてしまうことがあるからと言って、生態系全体へのインパクトがどの程度あるのか、断言することはできないのです。また、外来種は在来種の貴重な餌になっていることも多々あります。たとえば21世紀の森と広場には、カワセミが生息していますが、カワセミは外来種であるカダヤシやアメリカザリガニなどを食べて生活しています。もしかしたら21世紀の森と広場では、カワセミはそれらの外来種がいなければ生きていけない可能性も考えられるのです。しかしながら、外来種がなんらかの影響を在来種に及ぼしていることは間違いありません。どのような環境や生態系を保全して

いきたいのか、またどのように外来種と向き合い対策を講じていくのか、それとも野放しにするのか。それはとても難しい問題です。現実的に根絶が不可能な外来種も数多くいます。今回例としてあげた上記の3種は、それにあたると言えます。また、外来種のほとんどが、私たち人間が持ち込んだものばかりであるということをおぼろげに忘れてはなりません。大きな反省を胸に、外来種について考えてみて欲しいと思います。

そして、これ以上外来種を増やさないためには、私たちのモラルが重要となってきます。ペットショップで売られている生物を野外に放したり、他の地域で採ってきた生物をむやみに移動させてはなりません。それらが定着し外来種となり得るからです。私たち人間のこれまでの間違いを繰り返さないよう、努力していく必要があると思います。

## ドンちゃんの記念スタンプコーナー

このわくのなかにスタンプをおしてね！



### ご来園の皆様へお願い

安全、快適に公園を利用していただくため、本公園ではいくつかのルールがあります。**自転車**（キックボード含む）の乗り入れ、**ペット**の持ち込み、**テント**設営、**魚釣り**（たこ糸を使ったザリガニ釣りはOK、テグスは不可）などは禁止となっています。また**動植物の採集**や鳥などへ**エサをやる**こともかたくお断りしています。きれいな花もみんなで採ったら無くなってしまいますし、可愛いからと、人間の食べ物を鳥などにあげると自分でエサを捕れず、自然界で生きていけなくなり、かえって可愛いそうなおことになってしまいます。ルールを守って楽しく過ごして下さいね。

発行日：2011年4月1日  
発行：21世紀の森と広場パークセンター  
開館：9:00~16:30  
月曜休館（祝日開館/翌日休館）  
〒270-2252 松戸市千駄堀269  
TEL 047-345-8900  
<http://www.city.matsudo.chiba.jp/>

- ・ゴミは家までお持ち帰り下さい。
- ・なるべく公共の交通機関をご利用下さい。

